

第2学年B組 国語科学習指導案

教諭 塩見 笑璃

1 単元 お話を 読み、すきなところをつたえよう

教材 スイミー <光村図書>

2 単元設定の理由

○ 子どもの興味・関心の実態

本学級の子どもたちは、朝の読書時間や昼休みに、図書館で借りた本や学級文庫の本を進んで読む姿が見られる。読む本の傾向としては、動物が主人公としてかかっている絵本や、日本や外国の昔話などが多い。「どのような物語が好きですか。」と尋ねると、「お話に猫が出てくる本が好き。」「登場人物がおもしろいお話をよく読むよ。」など、ほとんどの子どもが自分の好きな物語について夢中になって話していた。また、好きな理由については、「猫が靴を履くところがおもしろいから。」「主人公がいつも同じせりふを言うから。」と、登場人物の行動を思い浮かべながら話す姿が見られた。このように、子どもたちは物語を読み、お話の好きなところについて話したり、登場人物の行動を想像したりすることに関心を高めている。

○ 子どもの能力の実態

本学級の子どもたちは、2年生教材「ふきのとう」において、登場人物がしたことや言ったことを確かめ、自分の役の読み方を考えて、音読発表会をしている。子どもたちは、人物の行動を読み取り、お話の様子がよく分かるように音読することで、場面の様子を想像することができるようになってきている。しかし、登場人物の言動を表す言葉と結び付けることなく、自分の想像の世界を広げている子どもの姿も見受けられ、場面の様子に着目し、想像することはできるが、「言葉と結び付けて」想像することまでには至っていない。

○ 単元・教材の価値

本単元は、第1学年及び第2学年「C 読むこと」の指導事項「(1) エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」に基づき、言語活動例「イ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。」を具現化するものである。

教材「スイミー」は、起承転結が明確で、お話のすじも捉えやすい。そのため、言葉に意識を向けることが行いやすい物語である。この時期の2年生の子どもたちは、第1学年時の1対1関係から、少しずつ仲間意識を広げつつある。仲間を思うスイミー、一人ぼっちなスイミーを身近に感じることができる。本教材には、様子を表す言葉として「～みたいな」、「～のような」などが多様に使われている。これらの言葉は子どもがよく使う言葉であり、体験と結んで想像も広げやすい。その一方で、意識化されていない言葉であるため、「言葉と結び付けて想像を広げる」という本単元の目標に向かいやすいと考える。

3 単元を貫く学習課題

場面の様子や言葉に気をつけながらお話を 読み、好きなところを伝えよう。

4 単元の目標

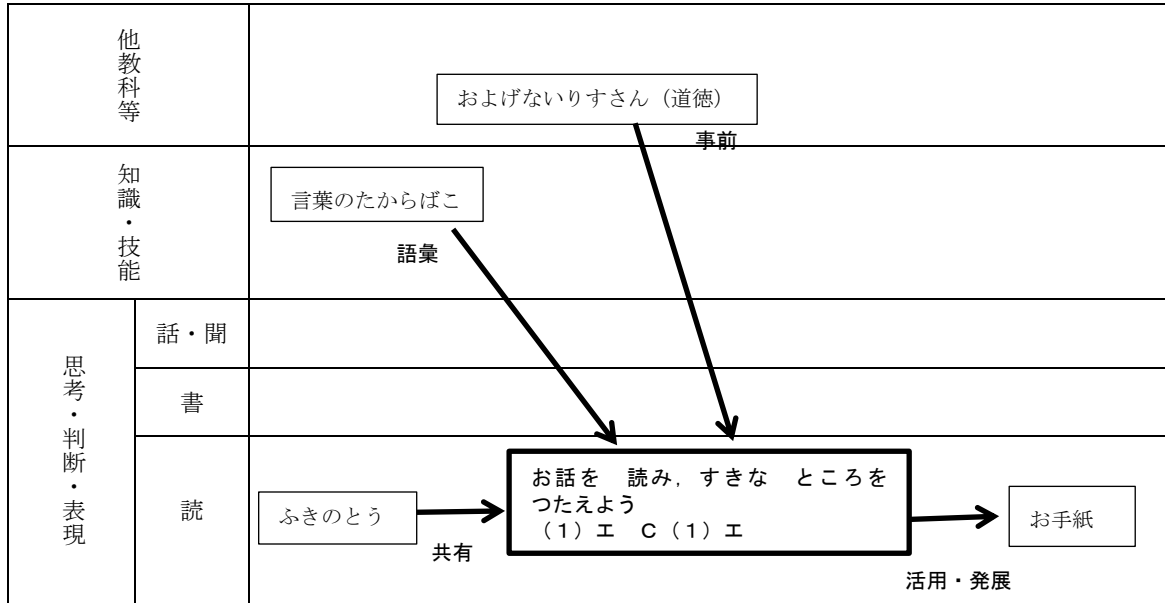
知識及び技能	1 身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。
思考力、判断力、表現力等	2 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
学びに向かう力、人間性等	3 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。

5 単元の評価規準

知識・技能	① 身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。
思考・判断・表現	① 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
主体的に学習に取り組む態度	① 粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きなところを伝えようとしている。

6 本単元のカリキュラム上の位置付け

※ 本単元以外は、教材名を掲載



7 本単元において「ことば」を問い続ける姿へ誘う手だて

<かまえる>

- 「お話の好きなところを見つける」ということを意識づけるために、これまでに学習した物語を想起して、好きなお話やお話の好きなところを伝え合う活動を設定する。
- 物語を複数の場面として捉え、内容の大体をつかむことができるように、場面ごとに起こった出来事やスイミーがしたことを確かめ、表に整理していく。「スイミー」では、場面の数と挿絵の数が一致していることを生かして、挿絵を提示して、「スイミーは何をしているかな。」と問いかけて出来事を想起したり、「どこに書いてあるかな。」と本文と関連づけて確かめたりすることができるようにする。
- 他のレオ＝レオニの作品にも興味をもち、読書活動を広げることができるように、レオ＝レオニの物語コーナーを設置する。

<いどむ・ふかめる>

- 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができるように、生活経験と結び付けて話をしたり、想像したことを音読や動作化で表現したりしていく。その際、本文の言葉を提示し、言葉を基に場面の様子をイメージすることで、そのときの登場人物の表情、口調、気持ちを具体的に想像することができるようにする。また、「～ような」「～みたいな」という比喩表現や色を表す言葉、読み過ぎしてしまいそうな言葉に着目して、場面の様子を思い浮かべることにつなげていく。
- 自分の好きな場面を見つけることができるように、毎時間の振り返りに「この場面が好きになったよ。そのわけは…」と考えをまとめたり、「○○さんは、この場面が好きだと言っていたよ。」と伝え合ったりする時間を設定する。

<いかす>

- 初読の好きなところが、単元の学習を通して、変わったり、広がったり、深まったりしたところに着目したり、同じ場面を選んでる友達でも理由が違ったりすることに気付くことができるように、友達と好きな場面を伝え合い、感想を交流する活動を行う。

8 単元の指導及び評価の計画（総時数 8 時間）

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 観点（方法）
か ま え る	1 これまでに読んできた物語を振り返り、本単元を設定する。 1	○ これまでに学習した物語を想起することができるように、物語の挿絵を活用する。 ○ 単元のめあてにつなげるために、今までに読んだ物語の「好きなところ」を中心に交流する。 ○ 初読の感想から学習計画を立て、学習の見通しをもつことができるようにする。	
い ど む ・ ふ か め る	2 五つの場面を確かめたり、出来事を確認したりして、物語の大体を捉える。 1 3 言葉に着目し、場面の様子を想像しながら1・2場面を読む。 1 4 言葉に着目し、場面の様子を想像しながら3場面を読む。 (本時) 1 5 言葉に着目し、場面の様子を想像しながら4・5場面を読む。 1 6 お話の好きな場面を決めて、ノートにまとめる。 1 7 お話の好きな場面を伝え合い、感じたことを交流する。 1	○ 場所や出来事などでひとまとまりになっているところを「場面」ということを確認する。 ○ 内容の大体を捉えることができるように、それぞれの場面で起こった出来事やスイミーのしたことを表にまとめる。 ○ 場面の様子を具体的に想像することができるように、「～みたいに」「つつこんだ」「だけ」などの言葉に着目する。 ○ スイミーの気持ちを想像することができるように、「こわかった。さびしかった。とてもかなしかった。」からどのような様子が伝わってくるかを話し合う。 ○ 場面の様子に着目して、登場人物の行動や会話について、具体的に想像することができるように、動作化を取り入れる。その際、「～ような」「～みたいな」という比喩表現や色を表す言葉に着目して場面の様子を具体的に思い浮かべることができるようにする。 ○ 五つの場面の中から自分の好きなところを選び、感想を書くことができるように、好きなところを書きためた振り返りシートを活用する。 ○ 好きな場面とそのわけを書くことができるように、教科書にある「話し方の例」を参照する。 ○ 互いのよさや共通点、相違点に気付いたり、読むことの楽しさを味わったりすることができるようにするために、グループで好きな場面とそのわけを伝え合う。	<div data-bbox="1166 584 1449 763" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[知識・技能①] 観察・発言 ・身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。</p> </div> <div data-bbox="1166 1227 1449 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現①] 発言・ワークシート ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p> </div> <div data-bbox="1166 1615 1449 1794" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[知識・技能①] ワークシート ・身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。</p> </div> <div data-bbox="1166 1816 1449 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度①] 観察・ワークシート ・粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝え合おうとしている。</p> </div>
い か す	8 学習のまとめをする。 1	○ これからの生活や学習活動に生かすことができるように、本単元での学習を振り返り、成果や課題をまとめる。	

9 本時の学習

- (1) 主眼 「～のような」や「～みたいな」などの様子を表す言葉に着目し、動作化をしたり生活経験と言葉を結び付けたりしながら読む活動を通して、だんだん元気を取り戻していくスイミーの様子や、スイミーが見た海の中の様子を具体的に想像し、好きなところを見つけて伝えることができるようにする。
- (2) 準備 ワークシート、挿絵、写真、ペープサート

学習活動	○指導上の留意点 ★評価規準(方法) ◆支援
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを話し合う。</p>	<p>○ 本時の学習の見通しをもつことができるようにするために、学びのあしあとを提示する。前時では、1・2場面を読み、場面の様子やスイミーの様子を想像したことを学びのあしあとを使って振り返ることができるようにする。本時は、スイミーの気持ちや場面の様子を想像しながら3場面を読むことを確認する。</p>
<p>めあて 3ばめんを読み、スイミーになりきって 海の ようすを そうぞうし、 すきな ところを つたえあおう。</p>	
<p>2 言葉に着目しながら3場面を読み、スイミーの気持ちや場面の様子を具体的に想像する。</p> <p>(1) どんな生き物が出てきたか言葉を確認めたり、動作化したりしながら場面の様子を具体的に想像する。</p> <div data-bbox="185 1055 754 1178" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「ゼリーのようなくらげ」は、ぷるぷるして てやわらかそうだね。</p> </div> <div data-bbox="185 1279 754 1402" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「水中ブルドーザーみたいないせえび」は、か たくて頑丈そう。</p> </div> <p>(2) だんだん元気を取り戻したスイミーの気持ちを想像する。</p>	<p>○ 3場面の様子やスイミーの行動を想像することができるように、全員で音読をする。</p> <p>○ 出会った生き物を確認するために、本文に線を引いたり、丸で囲んだりする。</p> <p>○ 言葉と結び付けて想像を広げることができるように、どんな生き物が出てきたか本文の言葉を提示しながら全体で確認する。</p> <p>○ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができるように、動作化を取り入れる。その際、「～のような」「～みたいな」という比喻表現や色を表す言葉に着目して場面の様子を具体的に思い浮かべることができるようにする。</p> <p>◆ 具体的に想像を広げることが難しい子どもには、実物の写真を提示したり、友達と一緒に動作化をしたりすることで、場面の様子を想像する手助けとなるようにする。</p> <p>○ 元気を取り戻したスイミーの気持ちを想像することができるように、「すばらしいもの」「おもしろいもの」「見るたびに」「だんだん」という言葉に着目するように声をかける。</p> <p>★ スイミーの行動や場面の様子を具体的に想像している。(発言・ワークシート)</p>
<p>3 3場面を読んで、好きなところやそのわけを伝え合う。</p> <div data-bbox="185 1816 754 1939" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>スイミーがいろんな生き物に出会って、だん だん元気を取り戻していったのが好きです。</p> </div>	<p>○ 友達との感じ方の違いや、自分の考えの深まりを実感することができるように、「3場面が好きになったよ。そのわけは…」と考えをまとめたり、「○○さんは、この場面が好きだと言っていたよ。」と伝え合ったりする時間を設定する。</p>
<p>4 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<p>○ 次時は、スイミーの気持ちや場面の様子を想像しながら、4・5場面を読むことを確認する。</p>